

弓道ながの

第 6 号

発行：長野県弓道連盟
会長 古澤 博
〒389-2253
飯山市中央橋通り
TEL 0269 (62) 4121
編集：県弓連広報部会
印刷：樹長野企画会

「長野県弓道連盟沿革史」 の作成にあたって

長野県弓道連盟

副会長 齋藤 節朗



「温故知新」のことばほど、われわれに日本の伝統の良さとかこれらを表わしてくれることばはあまりせん。

私たち弓道人も、これにしっかりと気づき、古き時代の良さを取り入れて現代を全うし、未来へよりよくつなげていかねばなりません。そのためには、まず、過去をしっかりと知らなければなりません。正しく知るためには、文体として残し、誰もが共通して理解できるものにしなければならぬ、との思いが一年の春頃より弓道の総会やその他の会合で、しばしば耳

にするようになりました。そのためには弓道連盟内に本紙（「弓道ながの」）を作成すると共に、併せて弓道史的な県内のもを作ろうという意見が湧きあがって参りました。過去と申し上げても、大平洋戦争以後の60周年のものであります。ですから頭書は「長野県弓道60周年誌」と名づけようではないか、との意見も多く、そのように進めようではないか、と言うことになりました。そして、平成十三年の秋に連盟の役員会に正式議題として提案されました。

この件については、異議は一つも出ず新委員会の設立が成りました。委員の構成も各ブロックより選出することとしましたが、東信からは「高井忠史」氏を推してもらうようにしました。これは全弓連の機関誌「弓道」の県弓連代表委員を務めておられる関係から、ぜひとも入っていた多くのが良いとこの関りからであります。他のプロ

ックは、そのブロックより推せんしてもらうことになりました。その結果、北信からは飯田秀樹氏、中信からは百瀬正氏、南信からは北村弥昌氏の有能な各氏が選出されてまいりました。その後、県連との関連やその他の状況から、どうしても、もう一名の委員が必要であるとの結果から長野の大山孝吉氏が加わることとなったのです。なお、委員長は相互の話し合いによつてということで高井忠史氏に決まりました。

さてこれから、どのように進めたらよいかということでもあります。まず、表題は60年史とするよりも「長野県弓道連盟史」としようということになりました。さらに、このメンバーだけでは荷が重いゆえ、各地区からも優秀な方々に委員となつていただくということになりました。日暮千曲・井堀孝雄・土川俊市・村松康尾の四先生方、事務局代表として桜井耕三・岡田真の二先生、それに小生が加わり、第一回の編纂委員会が5月28日に開催されました。経過報告、企画案についての説明の後、進め方については、種々の方法が話し合われました。結論的には、次の方法がよいのではないかとこのことになりました。本県には、弓界の最高

峰に昇られた範士の先生が多くおられます。その先生方は、それだけのご努力をなされたゆえに違いありません。したがって、それらの先生方に範士懇談会をしていただき、その中から各部会の活動を年次をおつて追求しようではないかとの結論となりました。このような趣旨から、私たちがこうではないかと理解していたことでも歳月を重ねるにいたがいました。正確に文体として残しておかねばなりません。当時の記事や記録をお持ちの先生方に、ぜひ、お力をお借りしてやりとげましょう。さらに、すでに故人になられた弓人でも記事などお持ちであろうと推定されましたら記事をお借りして下さい。

記事はそれだけではなく、各ブロックでの活躍の皆さんの現状や各道場の紹介を丁寧に掲載しようと思っております。種々な話題があるに違いないと思っております。さらにまた、当然のことかもしれませんが、県内の人々の県外での活躍も詳細に記述します。発行予定は平成十七年の春であります。どうぞご期待下さい。なお、本会誌作成やその他についてご意見のある方は、遠慮なくお寄せ下さいますようお願いいたします。

平成15年度 推薦発表

全弓連

全弓連では、本年度の称号・段位の推薦について、5月26日審議会委員による慎重な審議が行われ、本年度の推薦が次の通り決定された。

◆長野県関係

- 教士の部 鎌六 春原一郎(上小)
- 七段の部 教六 渡辺静夫(木曾)
- 九段の部 範八 宮澤 廣(長鉄)

ねりんびつく県大会 全国大会予選会

6月12日/県営飯田弓道場

参加者62名 成績は次の通り

▼県大会

- 一位 土川 俊市(木曾)
- 二位 相澤 勝治(諏訪)
- 三位 松澤 英男(飯伊)

▼全国大会長野県代表

- ◎監督 土川 俊市(木曾)
- ・選手 土川 俊市(木曾)
- ” 相澤 勝治(諏訪)
- ” 松澤 英男(飯伊)
- ” 田中テル子(諏訪)
- ” 宮沢 闊(飯伊)
- 補欠 中島 啓(飯伊)

講評で桜井耕三先生は、昨年より大勢の方が参加し盛会であったことのお礼と、小林歳二五段(上小)の85才に見える伸び合ひのある立派な射と姿勢について賞賛のことがあり、みんなを励まし無事大会を終了した。

※全国大会

平成15年10月18日~21日

徳島県鳴門市

鳴門総合運動公園弓道場

ご健闘をお祈りいたします。

全日本勤労者弓道選手権大会

6月14日~15日/埼玉県日高市弓道場

◎予選

教員 長野 20射9中 予選非通過

中部電力飯田 20射11中 通過

◎2回戦

中部電力飯田 20射11中 敗退

12中以上が上位戦へ「今年も一本に泣きました。一本の大切さを教えられ上位へ進められず残念です。」とコメントをいただきました。

ご声援ありがとうございました。

(中部電力飯田・教員長野)

長野県弓道連盟ホームページ

<http://kuren.cool.ne.jp>

第33回北信越高等学校弓道大会

下諏訪向陽・女子団体で優勝

6月21日~22日/富山県大島町弓道場
長野県関係成績

▼団体女子一回戦

- 長野 西 17-8 西新発田
- 下諏訪向陽 12-12 富山第一
- (競射) 4-3

同準決勝

下諏訪向陽 15-14 長野西

同決勝

下諏訪向陽 16-15 丹生(福井)

▼個人・女子

- ①上原 幸(下諏訪向陽)
- ③近藤 亜美(下諏訪向陽)
- ▼個人・男子
- ③古田 寿大(飯田風越)

長野県弓道近似的選手権大会

6月22日/上田市営/参加者127名

競技は、的中制により、各部毎に各自8射(四ツ矢2回)を行い、的中上位より順位を決定。

同中の場合、最上位者の決定は射詰

競射とし、2位以下は遠近競射による。

◎男子▼三段以下の部

- ①中山敬道(上小) 6中
- ②小山喜代二

- (飯山) 5中
- ③矢澤有史(松本) 4中
- ▼四・五段の部
- ①牧内和宏(飯伊) 7中
- ②志村 仁(諏訪) 6中
- ③村山弘信(上小) 5中

▼称号受有者の部

- ①土川俊市(木曾) 7中
- ②細田 尚(長野) 6中
- ③宮坂博之(諏訪) 6中
- ◎女子▼四段以下の部
- ①木村由起子(飯伊) 6中
- ②長尾真樹子(諏訪) 5中
- ③山田昌代(諏訪) 5中

▼五段以上の部

- ①水田明美(上伊那) 7中
- ②久保田智恵(上伊那) 6中
- ③阿部 緑(上小) 6中

※技能優秀者賞

- 平岩 真吾(上小支部) 式段
- 志村 仁(諏訪支部) 四段
- 阿部 緑(上小支部) 五段

—競技部—



第54回全日本男子弓道選手権大会
第36回全日本女子弓道選手権大会
長野県予選会

5月11日/塩尻市弓道場

参加者 男子32名・女子27名

競技方法については、予選は採点制により4射(一手2回)を行い、得点上位者より男女各15名を選出、決勝は的中制により6射(一手3回)を行い上位者男女各6名を県代表として7月27日上越市で開催される、ブロック予選会に出場します。



男子代表選手



女子代表選手



◆男子県代表選手(順不同)

小林 克松 本 桜井 耕三 長野
土屋 隆(小) 諸 古澤 金蔵 飯山
押金 孝(上) 小 土川 俊市(末) 曾

補欠 今井 勉(上伊那)

◆女子県代表選手(順不同)

久保田智恵(上伊那) 小池梨枝子 長野
小池 房子 長 野 高地美佐子(上) 小
降旗 奉子(諏訪) 遠藤由美子(上) 小

補欠 山口久美子(諏訪)

県代表として出場される選手のご健闘をお祈りいたします。

◆予選通過者

関沢 喜内・中野 栄治・郷道 隆志
小松 哲・小沢 敏之・寺島 信夫
宮坂 博之・新津 一夫
等々力純子・藤沢 敏子・永島 淑子
田尻 幸恵・棚田 千鶴・高木 涼子
松澤みさ子・鷹野 昌子

◎県予選会審判委員

委員長 古澤 博
審判員 大久保秀雄・宮澤 廣
栗林 實・山川 茂樹
(的前) 篠田 知博・百瀬 正

松村泰夫 錬士
飯田市体育協会表彰

飯田市体育協会では5月24日体育協会の総会席上、スポーツ功労者を表彰した。

弓道の部では松村泰夫錬士が有功章を受賞されました。先生は昭和50年から現在まで26年にわたり阿南地の弓道振興のため南部弓道会を組織し、会長として会の運営に尽力、また平成7年からは飯田下伊那弓友会(飯田市体育協会弓道部)の副会長に就任され弓道の振興に精力的に尽力されその結果同会は平成13年に社会体育優良団体として、文部科学大臣賞受章の栄に輝くなど先生の努力が一因ともなっています。平成9年からは、長野県弓道連盟の監事として就任され県弓連の事業運営にも積極的に参画しております。先生の今後のご活躍とご健勝を心からお祈り申し上げます。

◆松村泰夫(錬士六段)

大正12年4月26日生 79歳
会社役員 下伊那郡売木村101

—村松—

第58回 国民体育大会

わかふじ国体

長野県少年・成年代表決定

○少年男・女 代表選手選考会

4月12日〜13日/県営飯田弓道場

○成年男・女 代表選手選考会

5月24日〜25日/県護国神社弓道場

◆少年女子選手 中澤 萌未(長野日大)

補欠 植村 睦(長野西)

補欠 福沢留美子(伊那西)

補欠 塩澤理恵子(飯田)

◆少年男子選手 高遠 誠一(上田)

補欠 荒井 佑太(長野日大)

補欠 岩下 晃規(岩村田)

補欠 和田朋智毅(伊那北)

◆成年女子選手 伊藤 綾(上伊那)

補欠 等原 渚(諏訪)

補欠 久保田智恵(上伊那)

補欠 山田 昌代(諏訪)

◆成年男子選手 志村 仁(諏訪)

補欠 山岸 稔員(上伊那)

補欠 牧内 和宏(飯伊)

補欠 唐沢 章(飯伊)

8月23日〜24日、新潟

県新津市で行われる第24

回北信越国体に長野県代

表として出場する。



弓道紹介

善光寺弓道会

現在の弓道地は、もとは善光寺のお

花畑であった。たしかな創立年代は不

詳であるが、少なくとも明治三十年前

後と推定される。それは創立者の一人

である林順亮先生(明治二年生、当時

の威徳院住職)が三十才頃すでに弓道

に精進しておられ

たと先輩の先生よ

り聞いています。

当時善光寺一山の

住職の多くが弓道

人であった。

最初、道場の距

離(射位からのの

距離)は十八間で

あった。その後、

昭和八年道場大改

築の際に十五間に

改められた。尚そ

の時の改築費用は金老千数百円であつ

たという。また、当時より、会の運営

責任者は、善光寺関係者が当つてお

り、これに全員が協力するという形態

であった。現在は、道場、建物等の所

有を善光寺に移管し、運営管理は弓道



会で行っている。現在会長は斎藤節朗

先生が務め、会員七十名の組織であ

る。初代会長は、小林海邊先生であつ

た。

創立期より同好会員も増加し、会員

の射技も上達してきたが、とかく的中

主義におちいつて、真の弓道に程遠く

なるという自覚から良い先生を迎えて

技を磨いたら、ということに相談の結

果、窪田藤

信先生を師

範に迎え

た。その後

は長男の真

太郎先生が

師範となら

れた。

戦後永ら

くは空白期

もあつた

が、その後

当道場主催

による大会も舉行された。一時中断さ

れたものの再開され、現在まで続き、

今年は二十五回を迎えた。大先輩の指

導者も滝沢竜水先生、西沢敏雄先生、

塚田八郎先生、特に林亮天先生の指導

は、東北の阿波研造範士思想を主流

とした大射道の指導を中心としたもの

であった。技よりも気を優先した指導

をされた。

現在の弓道会は、会員相互の切磋球

磨と会員中の先輩の指導に任せて特に

師範は常置していないが、かように受

けた指導内容は、現在も脈々として生

きている。会員はこの思想のもとに連

日努力をしている次第である。

詳細は、長野県弓道史に載せるつも

りです。 奥山 誠治

お知らせ

〜長野運動公園弓道場増改築〜

平成15年8月1日から、平成16年3月

31日までの期間中は、遠的場・近的場と

も、増改築工事のため使用できません。

ご不便をおかけしますが、ご理解、

ご協力くださいますようお願いいたします。

〜中央伝達講習会(上級者)〜

○7月13日 会場・講師は次の通り。

北信 中野市営○小池 房子・新津 一夫

長野市営○小池 梨枝子・大蔵 努

東信 東部町営○清水 克也・遠藤由美子

中信 松本市営○渡辺 静夫・近藤 明子

南信 県営飯田○小林 克・降旗 泰子

◎教士研修会◎



大澤 万治先生

6月28日～29日／上田市営弓道場
参加者33名

講師に、範士十段大澤万治先生(岩手県)をお迎えし、また県弓連古澤博会長が加わり、二日間の日程で教士研修会が行われた。

第一日目、古澤会長の力の入ったあいさつ、大澤先生のあいさつの後、矢渡しは大澤主任講師が行った(第一介添藤悟教士七段、第二介添桜井耕三教士七段)次に参加者の一手行射を行い講評をいただき、続いて射技指導が行われた。

講話では、ご自身も指導を受けられ



た、阿波研造範士の「大いなる射の道の教え」についてお話があった、やさしい声の中から、力強い意志と正射に對する先生の意気込みが感じられた内容でした。

二日目は、古澤先生の矢渡し(第一介添土川俊市教士七段、第二介添篠田知博教士七段)で始まり、四人一つのでは特に時間をかけて指導があった。総評では「息合いが最も大切であること、長野県弓道を担っていくために一層の努力をしてほしい」と受講生を励まし締めくくった。

私と弓道

大北支部 大矢 誠



三年前、サラリーマンを卒業する頃還暦を迎えようとしていた私は、ご苦労さまでした

と見送られて、歳をとったものだと感慨にひたつたことを覚えている。ところが、池田町に移り住んで間もなく、弓道教室開設の回覧を見て、出かけてみて驚いた。

平林先生を始め、一回りも二回りも年配の皆さんが弓道会の現役として元気に活躍していらつしやる。新入生ということもあって、六十歳はピカピカの一年生クラスで、老後のことをあれこれと考えていた私は、職場のストレスから開放されて途端に若返ってしまった。

練習すれば程なくポンポンという音が聞けるものと思っていた期待は見事に外れて、弓道の深さを垣間見ることになる。「尽して求めず」の教えは、「求めて尽さず」に書き替えられてしまった。的の中にこだわらないなどということは、仮に装うことはできたとしても凡人のできるものではないと、実

力をタナに上げて自問自答している時だった。

ある大会で、上位に残った高校生の順位決定戦を見ていて、上手い人は離れるまでに、既に、当たるべくして当たる態勢が定まっているものなんだなと、感心させられた。

「尽して求めず」でいう求めるものが当たることだとすると、求めるものだとする、尽くすことこそが求めるもので、これは日頃の練習によって培われるものなり……と、今日もまた悟りだけが開かれていく。

今になって、つくづく弓を始めて良かったと思う。諸先生、同僚、それに高校生の皆さんにも感謝申し上げたい。



県弓連人事

長野県弓道連盟史の発刊事業推進のため、次の通り県弓連会長名で委嘱発令がありましたのでお知らせします。

○平成15年5月28日付(順不同)

- 斉藤 節朗 日暮 千曲
- 井堀 孝雄 村松 康尾
- 土川 俊市 桜井 耕三
- 岡田 真 高井 忠史
- 北村 弥昌 百瀬 正
- 飯田 秀樹 大山 孝吉

右、長野県弓道連盟史編纂委員会委員に委嘱する。

審査合格者

○定期中央審査

◆六段の部 5月6日 京都

中野 栄 治(上 小)

第一回長野県連盟史

編纂委員会開催

5月28日/長野市東口飯店

古澤会長あいさつの後、委嘱状交付・経過報告・編集企画案について検討事業別に担当責任者を決め、今後の進め方について会議が行われた。

▼事業別担当責任者

- 総務関係 斉藤 節朗 岡田 真
- 競技関係 井堀 孝雄 大山 孝吉
- 団体関係 土川 俊市 百瀬 正
- 指導関係 日暮 千曲 北村 弥昌
- 審査関係 村松 康尾 飯田 秀樹
- 高校関係 桜井 耕三 飯田 秀樹

▼広報部担当

- 資料収集 北村 弥昌 大山 孝吉
- 写真収集 百瀬 正 飯田 秀樹
- 原稿依頼 高井 忠史

なお、編集委員長には委員互選により高井忠史広報部長に決定した。



矢羽雑記(三)

▼「おじろわし」(尾白鷺)については「こわし」と言われ、和名抄にも、古和之とあり普通「ことり」とも呼ばれているところの鷺である。

頭部及び頸は少し黄ばんだ灰白色で全体は暗褐色である。くちばしと脚部も淡黄色であって、尾羽は成鳥のものは上部純白色で基部に茶褐色の斑があるが生態の場合はほとんど隠れて見え、尾白鷺の名のつくゆえんである。幼鳥は全体に茶褐色の斑が交わりその尾羽は白色でなく暗褐色の斑が一面にある。

生息地は、ヨーロッパ・アジアの大部分、北部アフリカ等に分布し、本邦では、樺太・千島・九州にも生息している。

成年の尾羽を「うすびよう」と名づけ、この鷺の幼鳥尾羽を「霞尾」と呼びその中間のものを「ことり霞尾」と称している。

このように成鳥と幼鳥との差のなほはだしい鳥もめずらしく、いままでは二種類の鷺のごとく思われていた。

▼「うすびよう」(護田鳥尾)

この羽は上部純白色にして基部に茶褐色の符があるものであるが、本黒というには、その色やや薄く、他におおわしの本黒があるのかかる名で呼ばれている。

この名の由来は、おすめ鳥(護田鳥)俗に「みなくちまもり」の羽の色に似た符であるため、おすめとりがおすめうとなり、更にうすびようとなつたとの説もあると言われている。

そして、この羽の下部の符が黒く大きく高くまであるものを高うすびようと呼んで賞美している。

おおわしのような豪壮な趣はないが、矢羽中一番優美な羽である。

▼霞尾

黒っぽいものを黒霞尾、白っぽいものを白霞尾と言っている。その中で成鳥うすびように近づいてきた白地がちに符の散っているものを小鳥霞尾と称して、普通の霞尾と別のものと考えられてきた。

この尾羽は丈夫さこそ、おおわしに劣るが羽の性質がよく似ており軽く矢飛びのよい羽としての矢に知いで最も適当であると言われている。

(協力/中島弓具店・中島忠夫氏)

大会 結果報告

長野県勤労者弓道選手権大会兼 第50回全日本勤労者選手権大会 長野県予選会

○4月6日/長野市運動公園弓道場

参加者35名/成績は次の通り

▽団体リ！グ戦(上位4チームによる)

1位 中部電力飯田(3勝0負)

木村匡彦・唐沢 章・木下克彦

大嶋 彰・牧内和宏

2位 教員長野(2勝1負)

飯田秀樹・松倉 志・外山勇

藤村雄一・古澤金藏

3位 セイコーエプソン(1勝2負)

保利明彦・小森拓・内山喜照

山崎泰志・木下禄章

4位 中部電力長野(0勝3負)

渡辺 悟・飯島 昭・神田裕司

今井弘之・樋口浩昭

▽個人(団体予選8射6中以上による競射)

1位 木下禄章(セイコーエプソン)

2位 松倉 志(教員長野)

3位 飯島 昭(中部電力長野)

団体上位2チームは6月13日~15日

日高市で行われる全国大会へ出場

―競技部―

第12回駒ヶ根大会

○4月20日/駒ヶ根市弓道場

参加者150名

▽団体の部(一般・高校)

1位 赤穂B

(成倉葉月・松崎由理・清水知世)

2位 下諏訪向陽(細川・井出・斉藤)

3位 岡谷南(有賀・関・山本)

▽個人の部

○高校男子①小牧啓太(弥生ヶ丘)

②今井悠太(赤穂) ③斉藤栄将(向陽)

④中村健二(下農) ⑤和田朋智毅(伊那)

北)

○高校女子①笠原綾乃(岡谷南)

②中崎千穂(赤穂) ③清水知世(赤穂)

④辻美穂子(弥生ヶ丘) ⑤井口梨沙(赤穂)

穂)

○一般①森田慶一(東伊那) ②久保田智

恵(駒ヶ根B) ③高仲成人(駒ヶ根A)

④中野雅之(信州大学) ⑤斉藤綾乃(信

州大学)

―外圍―

第60回上信越弓道大会

○4月20日/小諸懐古園弓道場

参加者68名

▽団体の部(各自四ツ矢二回)

1位 上田城20中 (平岩真吾・村山

弘信・大和邦浩・上條 凱)

2位 群馬C19中 (杉山・斉藤・三

塚・高橋)

3位 群馬A17中 (田中・六本木・

柴崎・山崎)

▽個人の部

1位 村山 弘信(上田) 7中

2位 斉藤 健(群馬) 7中

3位 後藤 丈夫(小諸) 6中

4位 大和 邦浩(L田) 6中

5位 荒木 義博(長野) 5中

井出―

御開帳記念善光寺大会

○4月27日/善光寺弓道場

参加者204名

七年に一度の御開帳を記念して、参

加賞はミニ回向柱でした。

成績は次の通り

★団体(24射)▽女子

1位 信州大学A13中

伊勢田 愛・金沢三紗子

木内 恵・門田 直子

2位 長野運動公園12中

宇野 久子・茂原 智子

大久保まき子・小池 房子

3位 松本弓道会11中

山田まさ江・西澤 永子

中村まゆみ・丸山 仙子

▽男子

1位 信州大学B16中

平沢 敏弘・小西佐多男

松原 剛志・松澤 豊

2位 信州大学A14中

鈴木 一平・桃井 潤

平野 聡志・近藤 恒平

3位 信州大学D14中

鍋島 裕隆・志知 能弘

仲田 一尋・畔上 宗幸

★個人(6射)▽女子

1位 山田まさ江(松本) 6中

2位 鷹野 昌子(長野) 6中

3位 高地美佐子(上田) 4中

4位 増田 美香(信大) 4中

5位 宇野 久子(長野) 4中

▽男子

1位 桃井 潤一(信州大学) 6中

2位 松原 剛志(信州大学) 6中

3位 近藤 恒平(信州大学) 5中

4位 原田 正浩(中野) 5中

5位 土川 俊市(木曾) 5中

―奥山―

第47回北信弓道大会

○4月29日/飯山市弓道場

参加者590名

成績は次の通り

★高校▽男子(30射) ①長野高校C19

中(赤塩宏一・落合志文・北田亮平・

岡田裕司・水谷祐介) ②長野日大C17

中(養部・半田・村井・高橋・吉川)

③長野高専B16中(藤原・菊地・小根

澤・船山・篠原)

▽女子(30射) ①長野西C19中(植村

睦・小林洋子・樋口綾子・田村千恵・湯

本七恵) ②長野日大C19中(中沢・市

村・杉江・鈴木・村田) ③長野西B15

中(原・高木・寺島・町田・中山)

★一般個人(6射)▽男子①大蔵務

6中(長野) ②古澤金蔵5中(飯山)

③青柳徹也5中(長野) ④清水 寛5

中(長野) ⑤荒木義博5中(長野)

▽女子①山崎美名子5中(長野) ②棚

田千鶴5中(長野) ③大澤裕子4中

(高専) ④小林勝子4中(中高) ⑤民

野千代子4中(中高)

○4月29日/護国神社弓道場

参加者226名

◎近的〔高校〕各自6射★団体①志学

館A11中(高見澤知世・柳沢 南・大

和 瞳) ②松本蟻ヶ崎C11中(曾山・

波多野・中島) ③松商学園B10中

(奥・竹下・草間)

★個人①奥 宏美6中(松商学園)

②藤沢友貴5中(松本深志) ③中島美

智子5中(松本蟻ヶ崎)

◎遠的〔高校〕各自4射★個人①秋山

直喜4中(池田工業) ②平沢 悟3中

(池田工業) ③柳沢 南2中(志学館)

◎近的〔一般〕★団体①信州大学B14

中(山田英雄・河村史紀・北村大星

②さすらい13中(志村・山田・長尾)

③信州大学E13中(森田・谷口・土屋

★個人①中村まゆみ6中(松本) ②北

村大星6中(信州大学) ③田中正彦5

中(松本)

◎遠的〔一般〕各自4射★個人①奥平

彰夫4中(塩尻) ②松島球真4中(信

州大学) ③磯谷風太4中(信州大学)

— 関沢 —

○4月29日/民宿泉の里弓道場

参加者250名

◎団体▽男子①上田A23中(高遠誠

一・黒澤悠樹・堀場一生・小西悠太・

武田晴太郎) ②岩村田A20中(荻原・

田中・岩城・神津・岩下) ③上田千曲

A19中(寺沢・金子・黒沢・依田・宮

沢)

▽女子①上田東A23中(北沢友美・馬

場智美・池内良美・中島由貴・元島有

美子) ②上田A23中(稲葉・江村・片

山・吉村・山下) ③野沢北A20中(井

出・金原・白井・西沢・湯本)

◎個人▽男子①岩下晃規(岩村田)

②平田憲司(上田東) ③諸星雅毅(岩

村田)

▽女子①峰村友里(上田染谷ヶ丘)

②井出ゆき奈(野沢南) ③上田友香

(佐久長聖)

○5月11日/池田町総合体育館弓道場

参加者180名

▼高校団体①蟻ヶ崎E(有賀史絵・飯

田光代・幅 尚美) ②松商学園F(三

郎・小林・金井) ③松本商業A(奥・

山崎・草間)

▼高校個人①奥 宏美(松商学園)

②滝沢美紀(蟻ヶ崎) ③飯田光代(蟻

ヶ崎)

▼一般団体①長野運動公園A(荒木義

博・金子俊一・山崎利八) ②長野運動

公園B(宮本・松田・中島) ③長野運

動公園C(小林・伊藤・本藤)

▼一般個人①金子俊一(長野運動公

園) ②荒木義博(長野運動公園) ③伊

藤 梓(長野運動公園)

— 宮本 —

○5月18日/白田町稲荷山町営弓道場

成績は次の通り

◎高校▽団体①北佐久農業(稲葉吾

朗・倉持隼人・萩原豊夏・市川 武)

②野沢北G(柳澤裕明・三石明彦・篠

原 徹・桜井孝雅) ③野沢北D(井出

聖美・廣澤萌子・小林葉子・湯本夏菜子)

◎一般▽団体①長野運動公園A(荒木

義博・小林千里・金子俊一・山崎利

八) ②佐久B(金原 正・木内新一

郎・藤牧 茂・倉島 裕) ③上田A

(白石幸夫・萩原恒雄・田口光三・清

水克也)

▽個人①中島 勁(長鉄支部) ②荒木

義博(長野支部) ③清水克也(上小支

部)

— 倉根 —

○6月1日/上田市営弓道場

参加者169名

〔高校〕★団体▽男子①長野東(武田

祥平・金澤雄三・塩崎 聡・市川智

第61回護国神社奉納大会
兼46回松本市民体育祭春季大会

第6回東信高等学校泉の里大会

第40回池田町弓道場開設記念大会

第39回小満祭弓道大会

第46回近県弓道上田大会

古市・武田・金子) ③岩村田(須江・篠原・布施・伴野・柳沢)

県高校総体

○5月31日～6月1日

▽女子 ①文大長野(石井歩美・轟杏莉沙・小川奈津美・小林美雪・矢島はづき) ②上田東B(柳原・横山・清水・近藤・杉浦) ③上田東A(馬場・山崎・酒見・荒川・池内)

▽男子個人(12射)

①塩沢宏幸11中(飯田風越) ②古田寿大10中(飯田風越) ③篠原大介(長野高専) 10中

▽女子個人(12射)

①上原 幸(下諏訪向陽) 11中 ②湯本七恵(長野西) 10中 ③小松香織(松本深志) 9中

(男女とも) 1. 2位が8月1日～4日長崎県大瀬戸町で開く全国大会に出場)

▽男子団体決勝リーグ

①飯田風越(遠山 越、市岡淳一、関島祐樹、古田寿大、塩沢宏幸、渡辺英昭、吉沢 朗) 3勝 ②長野2勝 1敗 ③須坂1勝 2敗 ④塩尻志学館3敗

▽女子団体決勝リーグ

①長野西(植村 睦、小林洋子、樋口綾子、田村千恵、湯本七恵、金子早苗、中澤樹理) 3勝 ②下諏訪向陽2勝 1敗 ③松商学園1勝 2敗 ④篠ノ井3敗

(男女とも) 1位が8月1日～4日長崎県大瀬戸町で開く全国大会に、3位までが6月21日、22日に富山県大島町で開く北信越大会に出場)

審査合格者

○3月23日/更埴市営

香級 2名 初段 85名

式段 6名

増田 知明・関 利恵子・金井 章悟 河村 博和・北澤 文恵・篠原 大介

○3月23日/長野市営

香級 2名 初段 106名

式段 22名

西部 博貴・春日 美穂・高橋由美子 畑山 大樹・藤澤みな美・竹田 裕太 岡田 滋・南澤絵里奈・金子 早苗

大原由美子・政岡 茂・高山 美有 峯嶋 伸行・湯本 竹彦・林部 雅樹 菊池 憲・中村 祥子・石井 歩美

柄澤 英明・湯本 七恵・長坂裕美子 松本 倫子

○4月20日/塩尻市営

香級 38名 初段 96名

式段 52名

奥村英里子・岡田 裕司・岩田 泰明 久保田智子・吉澤亜矢子・酒井 美光 上條 亮一・草間みどり・唐澤 紋子

原 将貴・宮原 大・小野 耕輔 横内 美帆・幅 尚美・林原 佳子

小泉 智子・古澤ゆず子・角 美幸 宮坂有希子・倉科 里史・山田 理恵

森田 康介・梶山明日美・渡辺 達哉 田中 景子・鍋島 裕隆・中原 優子

芝 史恵・中原 純子・川添 仁美 青木由美子・青沼 尚子・赤羽 淳子

清水 正郎・川口 純・矢口 美貴 増田美帆子・道上 貴恵・島田依未子

伊藤 順平・太田 千寿・菊池壽美子 長橋 綾・高見澤知世・柳沢 南

輿 宏美・竹下 敦子・吉池美奈子 丸山 聖恵・大和 瞳・秋山麻沙子

所 典子 参段 11名

手塚 英喜・中村 勇・高畑 正之

宮本 明子・大矢 誠・安部 和子

中村 広美・松木 民子・小泉 晃 小林 利恵・矢澤 有史

四段 6名

内野 貴文・鈴木 一平・三宅 宏樹

山田マサエ・門田 直子・藤枝寿恵子

○4月20日/茅野市営

香級 24名 初段 42名

式段 38名

釜屋 和典・山崎まり子・近藤 亜美 小柄 洞光・小平ひと美・小林 倫子

今福 香・矢崎 竜一・清水めぐみ 湯澤 未穂・上原 幸・石神 佳奈

仲井 詩織・久保田憲治・藤森 未希 松枝あゆみ・宮嶋万里子・小池みゆき

第38回全日本女子弓道大会 (中日本の部)

○4月13日/藤枝市/参加者549名

長野県は27名の参加・称号者の部で小川きよ選手(須高支部)は予選を4射皆中で通過するも射詰で残れず順位決定戦(遠近)では見事5位に入賞した。

関本 卓磨・秋山 真美・大平 絵理
 伊藤 未樹・中島 朋子・三澤 直紀
 池上 優子・松澤 江莉・矢崎 笑美
 福沢留美子・田村みどり・伊藤 夏美

〇5月25日/県営飯田

式段 26名

丸山 直樹・林 由希子・片桐 哲子
 深浦真理子・高山 季依・広 大輔
 奥平 奈緒・鹿角 昌平・伊藤 和子
 金田 寿光・竹村 光則・岡田 花子
 塩沢 舞・所澤 政和・竹内 一馬
 宮脇有希子・中原 千穂・大橋 一輝
 佐々木達也・中村 清彦・関島 祐樹
 志賀 明美・柳瀬 寛子・田中 滋
 鹿嶋 優子・成田 友美

参段 13名

藤田 顕・平松 鉄雄・松島 球真
 杉山 清・橋本 和憲・土屋 一穂
 村松 英成・中村まゆみ・中島 信一
 北原 重寿・小松真知男・常盤 時久
 金田 和勇

四段 5名

白石 静子・河村 史紀・大島 健裕
 森 清一・多田井幸人

〇5月25日/小諸市営

式段 24名

初段 148名

村田知寿子・養部 裕也・北島 茂明
 井原 達文・加々美智光・近藤 圭子
 井出さえ子・桜井 圭・油井 龍太
 関本 雅憲・中島 由貴・酒見 智恵
 倉持 隼人・遠藤 武司・吉見 康司
 江元 啓好・岡村 英明・市村 絵里
 長峰 哲・鈴木 裕美・三俣 祐介
 宮澤 昌平・高木 賢一・森川 直子

〇北信越三県連合審査

6月1日/飯山市営

参段 8名

藤井慶太郎・伊勢田 愛・松原 剛志
 山田 英雄・三石 智香・直江 美順
 小山謙太郎・高橋 静枝

四段 6名

弥永まり子・磯谷 風太・武田 礼子
 児玉 将之・塩原 静雄・木内新一郎

五段 8名

平澤 敏弘・涌井 和美・高橋 泰輔
 春原由美子・桃井 潤一・小松 浩志
 相澤 勝浩・土屋きよみ

宮澤 廣名誉会長

欧州セミナーへ

全弓連から講師として、スイス・マ
 ティー二へ7月16日〜30日まで派遣さ
 れます。

松本に弓道場新設

松本市の有賀市長は三月二十四日、
 松本勤労身体障害者屋内プールと隣接
 する市の近的弓道場を取り壊し、十八
 年度までに遠的・近的の両方に対応す
 る弓道場を新設する方針を明らかにした。
 今後は、市議会に諮り正式に計画を
 定める。

新設の弓道場は十七年度に設計、十
 八年度に建設を見込んでいます。
 松本弓道会は大きな大会の招致に向け
 過去二回遠近道場の建設を市に陳情し
 ていた。

投稿についてお願い

◎論文・随筆・弓矢にかかわる各地の
 祭事や神事・歴史などなんでも結構です。
 ○大会の写真も紙面を生かします。ぜひ
 傑作がありましたら送ってください。
 ○提言、ご意見、ご要望もお寄せくだ
 さい。検討のうえ積極的に紙面づくり
 に反映させていただきます。
 宛先は各地区選出の広報部員まで。

編集後記

▼「弓道なごの」第6号をお届けしま
 す。京都での全日本弓道大会・審査会
 も終り各地区の大会もたけなわです。
 京都大会では教士・有段者の部門で女
 子が優勝、まさに女性の進出がめざま
 しい大会でした。

▼今号では弓道連盟史の発刊事業につ
 いて、斉藤節朗副会長にお願いしまし
 た。県弓連の歩みを各部門別に調査し
 原稿用紙に書くまで並大抵なことでは
 ありません。構想を練り資料を集めて
 伝統ある県弓連の歩んだ記録を残すこ
 とは、先輩諸先生に対する感謝と後輩
 への継承になることと思います。
 全会員のご協力とご支援を特に願うも
 のであります。

▼全弓連機関誌「弓道」のB5判拡大
 が理事会、評議員会で了承され、誌面
 改革が進められます。
 文字が大きく読みやすくなり、情報量
 も増やし誌面全体にアクセントをつけ
 内容も充実されます。
 コスト問題は、購読者を増やすことで
 解消します。新読者拡張に、ぜひご協
 力ください。

(高井 忠史)